

高潮ハザードマップ

Mapa de Risco de Maré de Tempestades
Hazard Map Para sa Daluyong (Storm Surge)
Storm Surge Hazard Map

防災メモ

わが家の避難所
家族が離れ離れになった時の集合場所や連絡方法など

家族の連絡先

家族の名前	連絡先(学校や勤務先など)	電話番号	メモ(携帯電話など)

避難計画

裏面のマップを確認して、事前に避難計画を作りましょう。

高潮発生時に自宅が浸水する深さ	最寄りの避難所	避難にかかる時間
浸水深	m	分
		分
		分

令和4年3月 豊橋市 防災危機管理課
所在地 / 〒440-8501 豊橋市豊橋市庁舎1号館(豊橋市役所 西側4階)
電話番号 / 0532-51-3116 E-mail / bousai@city.toyohashi.lg.jp

非常時に必要なもの

非常持出品を準備しましょう！

家族3日分の食料・飲料水	携帯電話・モバイルバッテリー及び充電器	衛生用品(歯磨き用具等)・生理用品
貯金通帳・印鑑・現金(小銭)	筆記用具(油性ペンを含む)	ティッシュ・ウエットティッシュ・除菌アルコール
ヘルメット・防災ずきん・運動靴	毛布・寝袋・簡易ブランケット	タオル・下着類
健康保険証・運転免許証・権利証書	作業用手袋(革手袋)・防護マスク	タオル・下着類
ラジオ兼ライト(予備電池)	ホイッスル(呼び笛)	ナイフ・缶切り・マッチ・ライター
本人・家族の写真(最新のもの)	救急薬品・常備薬・処方箋のコピー	予備メガネ・コンタクトレンズ洗浄液
マスク・体温計		

家族に合わせた準備をしましょう！

▼ 高齢者がいる家族	▼ 乳幼児がいる家族	▼ 妊婦がいる家族
食料品類(ゼリードリンクなど)	ミルク・哺乳瓶・離乳食等	脱脂綿
おむつ・紙パンツなど	おむつ・おしり拭き	ガーゼ・さらし
寝具の予備(杖など)	ベビーソープ	新生児用品
持病等の薬	おんぶひも・おもちゃ	消毒用アルコール
口腔ケア用品	ガーゼ・さらし	母子健康手帳
身近な人の連絡先	食品アレルギーリスト	清潔なタオル等
自身の身元を記入したもの	母子健康手帳	マタニティマーク
防塵具	子ども医療受給者証	

ローリングストック(循環備蓄)とは、食料・飲料水などを保存期間が切れる前に消費し、新たに補充して、常に一定量のストックがある状態を保つことです。定期的に古い備蓄から消費することで、無駄を出さず、いざという時に期限切れで使えなくなることを防ぎます。

施設電話番号

いざという時の連絡先	電話番号
消防(火災・救急・救助)	119
警察(緊急)	110
豊橋市災害対策本部(設置時)	51-2055
主な関係施設の連絡先	
豊橋市役所(夜間・休日)	51-2421
豊橋市民病院	33-6111
豊橋医療センター	62-0301

毎月1日、15日、防災演習(8月30日～9月5日)、防災とボランティア演習(1月15日～1月21日)、正月三日(1月1日～1月3日)に休館利用できます。

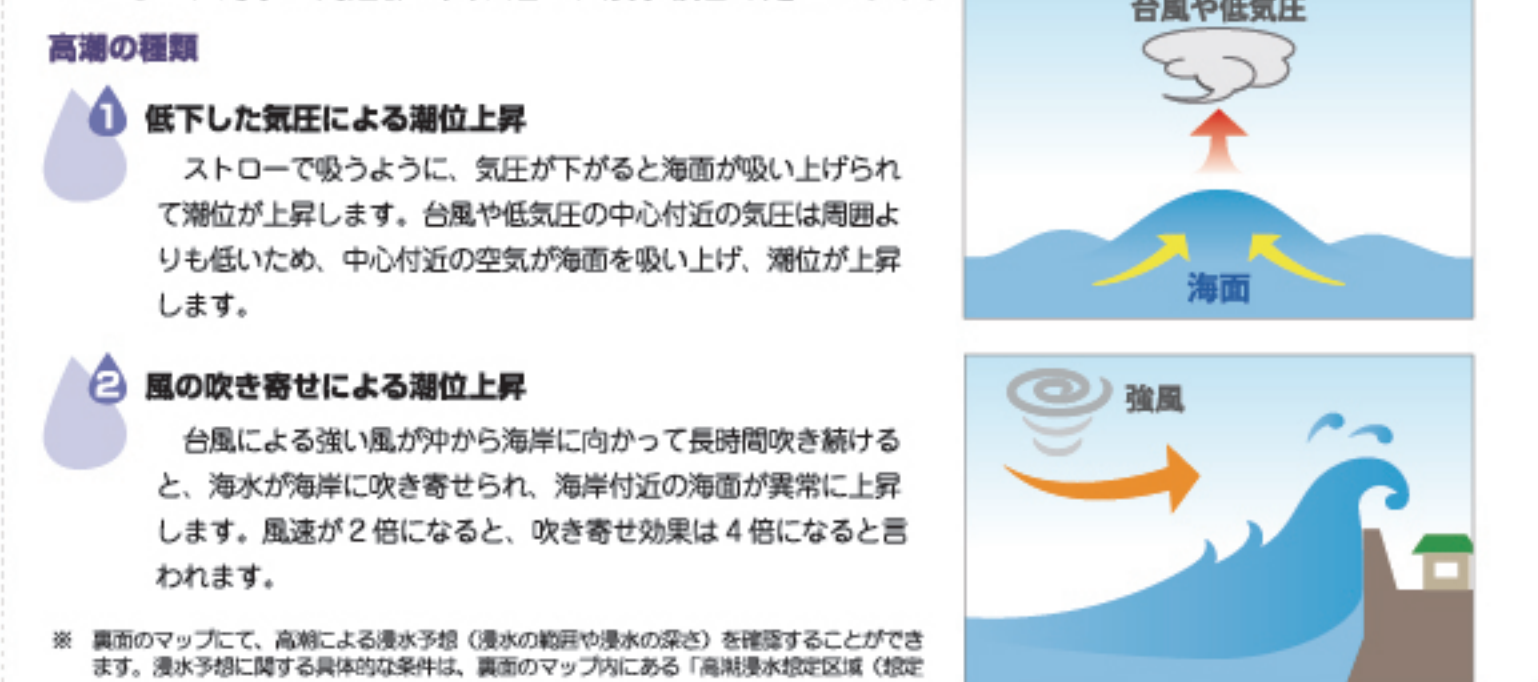
高潮ハザードマップとは

高潮ハザードマップとは？
高潮ハザードマップとは、大規模な高潮が発生した場合に想定される浸水の深さや浸水が継続する時間及び各地区の避難場所を示したものです。
あなたが住んでいる地区の水深や継続時間、災害の発生が予想される場所を日頃からよく把握し、危険を感じたら、自主的に早めの避難を心がけましょう。
また、高潮により大きな災害の発生が予想される場合は、市からも避難情報などが出されますので、速やかに避難しましょう。



高潮のメカニズム

高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により潮位が高くなることで、海水が内陸部に入り込み、浸水被害を起こします。



裏面のマップにて、高潮による浸水予想(浸水の範囲や浸水の深さ)を確認することができます。浸水予想に関する具体的な条件は、裏面のマップ内にある「高潮浸水想定区域(想定最大規模)」について、を参照してください。

情報を入手しよう

避難情報・防災気象情報の入手、警戒レベルの確認
テレビ、ラジオ、インターネットなどから、防災気象情報や避難情報を積極的に入手しましょう。入手した情報をもとに、現在の「警戒レベル」を確認し、段階に応じた適切な行動を取りましょう。

警戒レベル ^{※1}	状況	住民が取るべき行動	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	避難情報
警戒レベル5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保！	高潮氾濫発生情報(警報が発令) 大雨特別警報(気象庁が発令)	緊急安全確保 ^{※2} (豊橋市が発令)
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	高潮特別警報 高潮警報(気象庁が発令)	避難指示(豊橋市が発令)
警戒レベル3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高潮注意報(高潮警報に切り替える可能性が高い注意報(気象庁が発令))	高齢者等避難 ^{※3} (豊橋市が発令)
警戒レベル2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	高潮注意報(気象庁が発令)	
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁が発令)	

※1 必ずしも警戒レベル1～5の順番で発令されるとは限らないので注意してください。
※2 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベルは必ず発令される情報ではありませんので注意してください。
※3 警戒レベルは、高齢者等以外の人にも必要に応じた適切な行動を見守り始めたり、避難準備したり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

・気象情報をメールで受け取る
パソコン、携帯電話どちらも

「豊橋ほっとメール」
QRコード

・避難情報、防災気象情報を自分で調べる
防災アプリ「ハザードン」
iPhone/iPad QRコード
Android QRコード

豊橋市(防災・災害情報)
http://www.city.toyohashi.lg.jp/6677.htm
QRコード

救急庁
http://www.jrpa.go.jp/
QRコード

情報の伝達方法



もしもの時に備えよう

自宅と避難所を確認しておく

ハザードマップで自宅と最寄りの避難所の場所を確認し、そこへ安全に行くための避難経路を家族で話し合っておきましょう。
また、避難先の候補に親せき宅や知人宅、ホテルなども検討してみましょう。
決定した避難経路はハザードマップに書き込んでおきましょう。

避難時の非常持出品を用意しておく

非常持出品は、日頃から準備・点検をし、必要最小限のものをリュックサックにまとめ、できるだけ両手が自由に使えるように心掛けましょう。

危険箇所を事前に確認しておく

堤防の近くや海岸に近いゼロメートル地帯
予想以上の高潮の来襲や施設の老朽化により堤防が決壊する可能性があります。また、海岸近くの平均的な海面の高さよりも低い土地(ゼロメートル地帯)は注意が必要です。高潮発生時にはすぐに逃げられるように確認しておきましょう。

河口部や湾奥部
河口部や湾奥部は高潮発生時に水位が上がりやすくなります。河口部や湾奥部の付近で浸水する可能性がある場所を事前に確認しておきましょう。

アンダーパス
道路のアンダーパス等、周辺の土地より極端に低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。高潮発生時には、近づいたり、利用しないようにしましょう。

浸水が予想される地域、浸水継続時間が長い地域
浸水が予想される地域や浸水継続時間が長い地域に、自宅や学校、勤務先などが入っているかどうか、事前に確認しておきましょう。

避難時の心得

日頃から避難に必要なものを整理しておくとともに、避難の手順について、家族で話し合いをしておくと、いざという時あわてずに避難ができます。

- 正確な情報収集と早めの行動
- 避難の呼びかけに注意
- 避難する前にもう一度火元の確認
- お年寄りなどの避難に協力
- 動きやすい格好で二人以上の避難
- 万が一逃げ遅れたら頑丈な高い建物へ避難

正しい情報収集、危険を感じたら早めに自主避難する

テレビ・ラジオ・インターネットで、最新の気象情報、災害情報、避難情報を常に注意して確認しましょう。
また、浸水の状況など、まわりに危険を感じたら、早めに自主避難しましょう。

高潮注意報が発令されたら呼びかけに注意する

危険が迫った時は、市や消防団などから避難の呼びかけをします。
呼びかけがあった場合には、速やかに避難を開始しましょう。

避難は複数で、助け合って避難する

避難所へ避難する時は、近所に声を掛け、できるだけ複数人で避難しましょう。
また、高齢者や障がい者、乳幼児など、避難の支援が必要な人たちを、皆で協力し助け合いながら避難しましょう。

高潮が発生したらこんな点に注意しよう

市民の皆さんが取るべき行動

警戒レベル2 自主避難と警戒

身体的に不安のある人、身の回りに危険を感じた人は自主的に避難しましょう

- テレビ、ラジオ、インターネットからの最新情報に注意しましょう。
- 大雨が降りだしたら、市や消防団からの呼びかけに注意しましょう。
- 身体的に不安のある人、身の回りに危険を感じた人は、自主的に避難しましょう。
- 非常持出品の点検をしましょう。
- 避難所への避難ルートを確認しましょう。
- 避難前に火元を確認しましょう。
- 携帯電話の充電をしましょう。

警戒レベル3 高潮特別警報

避難に時間が要する人とその支援者は危険な場所から避難を開始しましょう
その他の人は避難の準備をしましょう

- 高齢者や障がい者、乳幼児とその支援者は、危険な場所から避難を開始しましょう。その他の人はいつでも避難できるように準備しましょう。
- 避難前にもう一度火元を確認しましょう。
- 親戚や知人へどこへ避難するか連絡しましょう。

警戒レベル4 避難指示

速やかに危険な場所から避難してください

- 避難行動を完了させましょう。完了していない人は速ちに避難してください。
- 避難所への移動が危険な場合は、近くの高い場所へ避難しましょう。
- 避難は複数で、助け合って避難しましょう。
- 避難は動きやすい格好で避難しましょう。
- 自動車や自転車による避難はやめましょう。
- 運動靴で避難しましょう。(サンダル、スリッパ、長靴は危険です。)
- できるだけ高い階層を選んで避難しましょう。
- 浸水した箇所を歩く場合は、長い棒を使って、溝や水路に十分注意して歩きましょう。
- 避難後も、テレビ、ラジオ、インターネットから最新情報を収集しましょう。

状況によっては、近くの高い場所へ避難する

ひざのあたりまで浸水した時や、移動が困難な高齢者や障がい者、乳幼児などが避難所へ移動することは、かえって危険を伴う場合があります。
動くことを最小限に抑えて、自宅や近くのビルの高い場所へ避難し、救助を待つ方が安全な場合もあります。

もしもの時に備えよう

早期のうちに行動を！

あわてずに避難を！

命を守る行動を！